

交付事業者名 ○○市

1 事業実施主体の概要（概要）

- ①団体の概要（代表者：○○市長 ○○ ○○、責任者：○○市 総務課 ○○ ○○）
 ②交付金事業に係る自己負担分の拠出元（○○市費）

2 事業担当者名及び連絡先

- ①氏名（ふりがな）：○○ ○○（○○○ ○○○）
 ②所属（部署名）：○○市役所 総務課
 ③役職：主任 ○○
 ④住所：○○県○○市○○町○○番地
 ⑤電話：○○○○○-○○-○○○○
 ⑥メールアドレス：abcd-efg@city.hijk.lg.jp

3 事業対象地域：○○県○○市

目標

A	目標値	B
現状（7年度）	事業実施後（8年度）	
<p>※ 「指標」、「目標値」及び「根拠となるデータ等」については実施要領別表1の「目標値」の欄及び「目標値設定に当たっての根拠及び留意事項」を参照してください。</p> <p>目標値については、事業メニューごとに「共通の目標1つ（産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合）」と「個別目標1つ以上（例：農林漁業体験をはじめとする生産者と消費者との交流に参加した者の増加割合又は延べ人数）」の計2つ以上の目標値を設定してください。</p> <p>【共通の指標】</p> <p>指標：産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合</p> <p>根拠となるデータ等：産地や生産者を意識して農林水物・食品をいつも又は時々選んでいる者の割合</p> <p>〔現状値〕 ○○.○%</p> <p>（第4次食育推進基本計画の現状値）（令和○年度）</p> <p>〔現状値及び目標値の考え方〕 第4次食育基本計画のほかに、都道府県・市町村作成の食育推進計画や都道府県・市町村実施のアンケート調査の現状値を踏まえた上で、目標値を設定することができます。</p> <p>指標：農林漁業体験をはじめとする生産者と消費者との交流に参加した者の増加割合又は延べ人数（農林漁業体験機会の提供をはじめとする生産者と消費者との交流の促進）</p> <p>根拠となるデータ等：○○市内における農林漁業体験者数</p> <p>〔現状値〕 延べ30人（昨年度の実績値）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・根拠となるデータ等：第4次食育推進基本計画の目標値 (令和8年度) 80.0%以上 [目標値] 令和8年度 : 80.0% ・増加率の記載は不要 ・令和7年度時点の数値を目標値として記載 <p>※左欄A：現状値はR6の数値を記載</p> <p>根拠となるデータ等：○○ [目標値] 令和8年度 : ○○% (増加率 : ○.○% (単年度○.○%)) [事業メニュー] : ○○</p> <p>〔根拠となるデータの考え方〕 第4次食育基本計画・第5次食育基本計画のほかに、都道府県又は市町村作成の食育推進計画の目標値を参照することもできます。</p> <p>※目標数値及び増加率の算出方法を具体的に記載してください。</p> <p>同左</p> <p>根拠となるデータ等：過去3年の実績値の平均値 延べ40人 [目標値] 令和8年度 : 延べ40人 [事業メニュー] : ○○</p> <p>〔目標値の考え方〕 農林漁業体験機会の提供をはじめとする生産者と消費者との交流の促進については、食育推進基本計画等の目標値によらない目標値を設定できますので、消費・安全対策交付金実施要領の別表1をご確認ください。</p>

<p>指標: 学校給食における地場産物活用に向けて検討した品目数(学校給食における地場産物等活用の促進)</p> <p>根拠となるデータ等 :</p> <p>組織する検討会において学校給食における地場産物活用に向けて検討した品目数</p> <p>〔現状値〕 0 品目</p>	<p><u>同左</u></p> <p>根拠となるデータ等 : 本年度の事業内容を踏まえて検討予定品目や検討会の開催回数等から数値を設定 5 品目</p> <p>〔目標値〕 令和8年度 : 5 品目</p> <p>〔事業メニュー〕 : ○○</p>
--	---

事業の必要性及び目標値の考え方

C

事業の目的
〔現在の課題〕

〔事業の目的の考え方〕 目的の設定に当たって 前提となる地域の課題も可能な限り根拠を示して記載してください。

○○市○○計画によると、農林漁業体験を経験した市民の割合は令和5年度時点で63%であり令和7年度目標値70%に足りていない状況。また、○○市で行った令和5年度○○調査では学校給食における地場産物の活用割合は30%となっており、農業の生産現場への市民の理解醸成が進んでいない状況である。

こうした状況を踏まえ、学校給食における地場産物の活用を促進するとともに、小学生によるサツマイモの苗付けから収穫までの一連の体験やその体験結果の周知を行うことにより、農業の生産現場への市民の理解醸成を図る。

※目的の設定にあたって前提となる地域の課題も可能な限り根拠を示して記載してください。

2 事業内容

○○市内の小学生40名を対象に、○○市の圃場において事業期間内に4回サツマイモの栽培・収穫体験を実施するとともに、収穫後に収穫したサツマイモの試食会を開催する。

また、学校給食への地場産農産物の利用促進に向けて、生産者、教育委員会、給食センター、小中学校等の関係者による協議会を設置し、○○県産食材5品目(サツマイモ、じゃがいも、玉ねぎ、牛乳、米)を活用する検討会を開催する。

3 実施体制

○○市役所(○○部○○課及び○○部○○課)と市内給食センター担当者、市内小学校の栄養教諭、県内生産者及び市内○○農園が連携して行う。

4 波及効果

今回の取組を、県内のテレビ局や市のホームページ、SNS及び広報誌等により、市民に対して情報発信する。

- ・県内のテレビ局での放映: ○回 視聴者数 約○万人
- ・ホームページの掲載: ○回更新 閲覧者数 約○万人
- ・SNSへの掲載: ○回 閲覧者数 約○万人
- ・広報誌への掲載: ○回 全世帯 約○万世帯へ配布

5 事業成果・効果の検証方法

〈農林漁業体験機会の提供をはじめとする生産者と消費者との交流の促進〉 イベント終了後に、参加者を対象としたアンケート調査により効果測定を行う。

6 委託関係

委託がない場合 → 「委託関係:なし」

委託がある場合 ↓

委託内容: (○○部○○課及び○○部○○課)と市内○○こども食堂と市内○○農園○箇所が連携し

て行う。

○○の取組のうち○○を委託する。

委託先：公募により決定、見積りにより決定等等（委託の決定方法を記載）

委託予定金額：○○○円（参考見積等）

7 その他事業の推進に必要な事項

事業メニュー及び交付金要望額		※事業メニューごとに具体的な内容を記載			
事業実施主体名	事業メニュー番号	事業量 （実施回数・期間等）	所要額 (円)	交付金要望額 (円)	交付率
○○市	(4) 農林漁業体験 機会の提供をはじめとする生産者と消費者との交流の促進	実施内容：サツマイモの収穫体験の実施 実施期間：令和8年10月～11月 実施回数：10月3回、11月1回 計4回 参加対象及び人数 ：小学生10月60名、保護者：○月○名 計○名	○○○○円	○○○○円	1/2以内
	(6) 学校給食における地場産物等活用の促進	・学校給食への地場産農産物の利用を活用するための検討会を開催する。（令和8年5月～6月に4回、8月、10月、12月、1月、2月に1回ずつ（計9回））	○○○○円	○○○○円	1/2以内
合 計			○○○○○円	○○,000円 「該当なし、 含税額」等	

関東農政局では、交付要望額は1,000円単位
になるようお願いしています。

記載例の補足 留意事項 エ

※ 昨年度、減塩に関する事業や、栄養指導（健康）及びスポーツを主体とする事業について、「食育の趣旨にそぐわない」との指摘がありました。
これを踏まえ、令和8年度事業においては、取組内容を十分に精査し、食育の趣旨に合致した内容となるようご検討ください。

事業メニュー

- (1) 食育推進検討会の開催
- (2) **食育活動を推進する人材**の育成及び活動の促進
- (3) 食文化の保護・継承のための取組支援
- (4) 農林漁業体験機会の提供をはじめとする生産者と消費者との交流の促進
- (5) 和食給食の普及
- (6) 学校給食における地場産物等活用の促進
- (7) 共食の場における食育活動
- (8) 環境に配慮した農林水産物・食品への理解向上の取組
- (9) 食品ロスの削減に向けた取組
- (10) 課題解決に向けたシンポジウム等の開催

指標（目標値）

- ① 食文化の継承度
- ② 栄養バランスに配慮した食生活の実践度
- ③ 食育の推進に関わるボランティアの数
- ④ 学校給食における地場産物等を使用する割合又は学校給食における地場産物活用に向けて検討した品目数
- ⑤ 地域等で共食したいと思う人が共食する割合
- ⑥ 食品ロス削減のために何らかの行動をしている者の割合
- ⑦ 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ者の割合
- ⑧ **食品の安全性についての知識を持ち、自ら判断する者の割合**
- ⑨ 【共通の指標】産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
- ⑩ 農林漁業体験をはじめとする生産者と消費者との交流に参加した者の増加割合又は延べ人

※独自指標（目標値）について

R8 要望調査における目標値の設定については、本省より上記の指標（目標値）以外は、原則として記載しないようお願ひいたします。